

第 130 回

宝禅寺 寺子屋塾

知っているようで知らない仏教の話

講師よりメッセージ・・・宝禅寺 法嗣 小林 賢正 師

年中行事であるお彼岸やお盆、「仏の顔も三度」「三人寄れば文殊の知恵」「三日坊主」などのことわざ、言語道断、因果応報、四天王、仏箸、お陰様、ありがとうなどの慣用句や熟語など、私たちが普段の生活をしていく中で、思いのほかたくさんの事が仏教の影響を受けています。仏教は長い時間をかけて我々日本人の心の奥底まで浸み込んでいるのです。今回は「知っているようで知らない仏教の話」と題して、主に仏像のお話しをしたいと思えます。おそらく仏像を見たことが無い方はいらっしゃるかもしれませんが、拝観した仏像の種類などはお分かりにならない事があるかと思えます。基本的な知識や見分け方をご紹介いたしますので、次回のお寺巡り・仏像巡りにどうぞお役立ててください。



【講師・小林賢正師プロフィール】

2000年群馬県生まれ。大正大学仏教学部仏教学科宗学コース卒業。

10歳で得度し大学在学中に比叡山延暦寺行院にて加行満行。大学卒業後、宝禅寺法嗣として活動中。

1. 日 時 令和6年10月12日（土）午後2時～
2. 場 所 前橋市上泉町 1277-1 宝禅寺 TEL 027-269-4350
3. 講 師 宝禅寺 法嗣 小林 賢正 師

○参加料 500 円（講演の教材購入や資料作成に使わせていただいております）

数年前でしょうか、いわゆる「仏像女子」と呼ばれる仏像好きの女性が「イケメン」として有名な京都教王護国寺の帝釈天像や奈良興福寺の阿修羅像に殺到したことがありました。このように日本各地に数多ある仏像が持つさまざまな魅力に、私たちは長年魅了されてきました。今回は仏像の基本的な知識や見分け方などのお話しを伺い、皆様には仏像をより好きになっていただきたいと思えます。この秋の旅行に一つ楽しみが増えますよ。

宝禅寺住職 高橋 賢靖
宝禅寺法嗣 小林 賢正
寺子屋塾 事務局 一同